

凡例 〔索引篇〕

1. この索引は篁物語に用いられているすべての単語を収載したものである。
2. この索引の本文は彰考館文庫の枳形本篁物語を底本とし、宮内庁書陵部の小野篁集をもって対校した篁物語の本文篇によった。詳細は本文篇凡例を参照されたい。
3. 底本の本文より対校本の本文が正しいと考えられるものは対校本に従った（本文篇凡例四参照）。また、底本および対校本の意味の不通な所もしくは不自然と思われる若干の箇所は、これを訂した本文に従った（本文篇凡例二の(3)参照）。
4. 漢字の訓み方は次の基準によった。

- (1) 本文の他の所に仮名書きがある場合はそれによった。
- (2) 底本に仮名書きの例がなく対校本に見られる場合は原則として対校本による。
- (3) 暦日など、両様に訓み得る場合は両様の見出し語を掲げた上、後者の項で所在を示した。

例 きんしちにち〔三七日〕→みなぬか

- (4) 御は訓みわけたが不明の場合は「おほん」として掲げた。

5. 語彙索引について

- (1) 見出し語は単語・複合語・接辞、ないし一つづきにした方がよいと思われる語句を掲げた。接辞を含む語・一つづきの語・複合語はそのままの形の他に、なおそれらを構成している単位に分解した形でも掲げた。

例 ♪あかしはつ♪ は「あかし」でも「はつ」でも引ける。

♪おほんとか♪ は「おほん」でも「とか」でも引ける。

♪よぶかし♪ は「よ」でも「ぶかし」でも引ける。

- (2) 単語の配列は見出し語の五十音順により、本文篇の行数を示した。

例 あし 127

とあれば「あし」という単語は本文篇の127行にあるという事である。

- (3) 見出し語が同音の時は、原則として次の順序に従って配列した。

名詞・代名詞・感動詞・副詞・連体詞・接統詞・動詞・形容詞・形容動詞・助動詞・助詞・接頭語・接尾語・連語

- (4) 活用語は原則として終止形の項にまとめ、各活用形に従って分類したものを列挙した。なお、次の略号を用いた。

未然形＝未 連用形＝用 終止形＝止 連体形＝体 已然形＝已

命令形＝命

また、形容動詞は語幹の形でも掲げ、助動詞・助詞は打消・断定あるいは副助詞・終助詞などのごとく、更に小分けしたことがある。

- (5) 見出し語の括弧について。〔 〕内には意味識別上の便宜から、できるだけ漢字を当て、〈 〉内には文法的職能を示した。後者にあつては次の略号

を用いた。

名詞＝名・

代名詞＝代・感動詞＝感・副詞＝副・連体詞＝連体・接続詞＝接・動詞＝動・形容詞＝形・形容動詞＝形動・助動詞＝助動・助詞＝助・接頭語＝接頭・接尾語＝接尾・連語＝連語・語幹＝幹・四段活用＝四・下二段活用＝下二・ナリ活用＝ナリ

- (6) 懸詞はその掛けられた語のそれぞれに掲出して、当該行数の右肩に*印を附してこれを明示した。

6. 歌句索引について

『篁物語』所載歌の句別総索引である。見出し句の次に()で囲んだ数字はそれが何句目のものであるかを示す。

索引篇

語彙索引

— あ —

- あか・し〔明し〕
あかき<体> 18
あかしは・つ〔明し果つ〕
あかしはて<用> 103
あか・す〔明す〕
あかし<用> 参照(明かし果て)
あ・く〔飽く〕
あか<未> 22 101 183
あ・く〔明く〕
あけ<用> 121 126 150
あ・く〔開く〕
あけ<用> 参照(解き開け)
あ・ぐ〔上ぐ〕
あげ<用> 参照(掻き上げ)
あざやか・なり〔鮮やかなり〕
あざやかなり<止> 154
あし〔足〕 127
あ・し〔悪し〕
あしく<用> 128
あしう<用> 74
あした〔朝〕 25 55 61
あ・す〔浅す〕
あせ<用> 8
あだ〔徒〕 参照(徒巫覡)
あだきね〔徒巫覡〕 52
あだ・なり〔徒なり〕
あだに<用> 109
あた・る〔当る〕
あたら<未> 145
- あつ・む〔集む〕
あつめ<用> 参照(かき集め)
あと〔後〕 142
あと〔跡〕 参照(跡はかなし)
あとほか 参照(跡はかもなし)
あとほかな・し〔跡はかなし〕
あとほかなく<用> 62
あとほかなし<止> 71
あとほかもな・し〔跡はかもなし〕
あとほかもなく<用> 63 67
あとほかもなし<止> 69
あな〔穴〕 116 118 129
あな<感> 18 45 184
あね〔姉〕 194
あは〔泡〕→あわ
あは 参照(あはに)
あは・す〔合す〕
あはせ<用> 82
あはに<副> 147
あはれ・なり
あはれ <幹> 22 93 179
あはれなり<用> 20
あひ〔相〕<接頭> 参照(相添へ)
あひそ・ふ〔相添ふ〕
あひそへ<命> 135
あひだ〔間〕 190
あひみ・る〔相見る・会ひ見る〕
あひみ<未> 3
あ・ふ〔会ふ〕
あは<未> 100 190
あひ<用> 71 参照(会ひ見・出で会)

ひ)

あふく体> 99 103
 あ・ふ〔合ふ〕
 あひく用> 参照(差し合ひ, 詣で合ひ)
 あへく命> 参照(泣き合へ)
 あま・る〔余る〕
 あまりく用> 40
 あや〔綾〕 38 39
 あや・し〔奇し・怪し・異し〕
 あやしくく用> 25 40
 あやしうく用> 80
 あやしく止> 177
 あり〔有〕 参照(有様)
 あ・り〔有り〕
 あらく未> 12 37 42 56 79 84
 115 115 131 175 187 196 197
 ありく用> 1 3 4 9 36 37 41
 41 81 87 106 110 116 119 147
 158 165 173 177
 ありく止> 55 97
 あるく体> 19 80 101 104 105
 162 179 185
 あり・く〔歩く〕
 ありきく用> 参照(うそぶき歩き)
 ありさま〔有様〕 参照(おほん有様)
 あるじ〔主〕 参照(主する)
 あるじ・す〔主す〕
 あるじするく体> 107
 あわ〔泡〕 149

— い —

い〔寝〕 103
 いかが〔如何〕 32 134
 いかで〔如何で〕 参照(如何でか・如何に)
 いかでか〔如何でか〕 97
 いか・なり〔如何なり〕
 いかならく未> 182

いかに〔如何に〕 14 68 83 100 162
 170
 いかめ・し〔厳めし〕
 いかめしうく用> 172
 いぎ〔息〕 133
 い・く〔行く〕 参照(ゆく)
 いかく未> 176
 いきく用> 118 132 173
 いけく已> 167
 いけく命> 78
 い・く〔生く〕
 いけく命> 183
 いささか〔聊か〕 118
 いささめ 参照(いささめに)
 いささめにく副> 125
 いさやく副> 65
 いし〔石〕 参照(いし神)
 いしがみ〔石神〕 52 55
 いそが・す〔急がす〕
 いそがしく用> 53
 いつ〔一〕 参照(一尺・一首)
 い・づ〔出づ〕
 いでく未> 参照(思ひ出で)
 いでく用> 64 98 120 140 140
 169 188 参照(出で会ひ・出で立ち
 ・出で走り・成り出で)
 いづく〔何処〕 54 57
 いっしゃく〔一尺〕 40
 いっしゅ〔一首〕 7
 いづれ〔何れ〕 57 58
 いでく感> 43
 いであ・ふ〔出で会ふ〕
 いであひく用> 76
 いでた・つ〔出で立つ〕
 いでたちく用> 46
 いではし・る〔出で走る〕
 いではしりく用> 56
 いと〔糸〕 123*

いと<副> 1 5 17 18 40 57 61
98 120 121 123* 133 152 154
164 165 169 170 172 173 178
190 194 194
いとおし→いとほし
いとおしがる→いとほしがる
いとど・し
いとどしく<用> 95
いとほ・し
いとほし<幹> 参照(いとほしがる)
いとほしう<用> 85
いとほし<止> 105
いとほしが・る
いとほしがり<用> 42
いとをし→いとほし
いな<感> 43 43
いなり〔稻荷〕 36 74
い・ぬ〔去ぬ〕
いな<未> 169
いに<用> 44 140 150
いぬ<止> 53
いぬる<体> 54
いのち〔命〕 131
いひし・る〔言ひ知る〕
いひしら<未> 181
い・ふ〔言ふ〕
いは<未> 69 84 192
いひ<用> 19 26 43 58 60 60
68 73 74 75 78 83 88 92 94
96 126 130 132 134 138 143
176 178 189 参照(言ひ知ら)
いふ<止> 14 105
いふ<体> 6 17 23 47 71 88
143 150
いへ<已> 73 85
いへ〔家〕 54 65 117 140 161
いま〔今〕 2 72 161 195 参照(只
今)

いま・す〔坐す〕
いませ<未> 58
いみ・じ
いみじく<用> 121
いもうと〔妹〕 85 97 118 143 173
174
いもせ〔妹背〕 8 参照(妹背川・妹背
山)
いもせがは〔妹背川〕 16
いもせのやま〔妹背の山〕 8
いもせやま〔妹背山〕 10
いよいよ〔愈愈〕 116
いらへ〔答へ〕 参照(答へせ)
いらへ・す〔答へす〕
いらへせ<未> 138
い・る〔入る〕
いら<未> 24
いり<用> 23 27 86 97 98 140
161 163 167 参照(這ひ入り)
いる<体> 参照(絶え入る)
い・る〔入る〕
いれ<未> 参照(取り入れ)
いれ<用> 108 117 参照(かき入れ
・取り入れ)
いる→ゐる
いろ〔色〕 38 参照(桜色)
いろいろ〔色々〕 37
いゑ→いへ
いを・ぬ〔寝を寝〕<連語>
いをね<未> 103
— う —
う〔得〕
え<用> 参照(得たり顔)
うかが・ふ〔窺ふ〕
うかがひ<用> 112
うきぐも〔浮雲〕 125*
うけたまは・る〔承る〕

うけたまはり〈用〉 160
 う・し〔憂し〕
 うし〈止〉 参照(心憂し)
 うき〈体〉 125*
 うす〔薄〕 参照(薄物)
 うすもの〔薄物〕 38
 うそぶきあり・く〔嘯き歩く〕
 うそぶきありき〈用〉 24
 うそぶ・く〔嘯く〕
 うそぶき〈用〉 参照(うそぶき歩き)
 うた〔歌〕 192 193
 うだいじん〔右大臣〕 159
 うたて〈副〉 23 68 105
 うたてあ・り〔うたて有り〕〈連語〉
 うたてある〈体〉 105
 うち〔内〕 59 159 167
 うち〈接頭〉 参照(うち解け・うち率)
 うちいる→うちゐる
 うちき〔桂〕 37
 うちと・く〔うち解く〕
 うちとけ〈未〉 101
 うち・ある〔うち率る〕
 うちゐる〈用〉 78
 うつ・る〔移る〕
 うつら〈未〉 111
 うど〔人〕 参照(仲間)
 うと・し〔疎し〕
 うとく〈用〉 3 参照(け疎く)
 うへ〔上〕 147
 うるさ・し
 うるさし〈止〉 188
 うるは・し〔麗し〕
 うるはしく〈用〉 39
 うゑ→うへ

— え —

え〔得〕〈副〉 121 127 129 181 185
 えたりがほ〔得たり顔〕 192

— お —

おかし→をかし
 おきな〔翁〕 参照(翁び)
 おきな・ぶ〔翁ぶ〕
 おきなび〈用〉 59
 おく・る〔後る〕
 おくれ〈用〉 42
 おこ・す〔遣す〕
 おこせ〈用〉 53
 おさなし→をさなし
 おさむ→をさむ
 おしふ→をしふ
 おしみとどむ→をしみとどむ
 おしむ→をしむ
 おだまき→をだまき
 おとこ→をとこ
 おとづ・る〔訪る〕
 おとづれ〈未〉 80
 おとど〔大臣〕 参照(父大臣)
 おとど〔大殿〕 参照(母大殿)
 おとどどの〔大臣殿〕 176
 おとな〔大人〕 37 37
 おどろか・す〔驚かす〕
 おどろかさ〈未〉 187
 おな・じ〔同じ〕 〈形〉
 おなじ〈体〉 37 71 163
 おの〔己〕 116 187
 おのが〔己が〕 116 187
 おのこ→をのこ
 おはしま・す〔御座します〕
 おはします〈体〉 134
 おは・す〔御座す〕
 おはせ〈未〉 179
 おはし〈用〉 162
 おび〔帯〕 168
 お・ふ〔追ふ〕
 おひ〈用〉 117

おほ〔大〕 参照(大王)
おほい〔大〕 参照(大君)
おほいぎみ〔大君〕 162
おほきみ〔大王〕 47
おほ・し〔多し〕
おほく<用> 36
おほしめ・す〔思し召す〕
おほしめす<体> 184
おほ・す〔思す〕
おほし<用> 177
おほせ〔仰せ〕 参照(仰せ言)
おほせごと〔仰せ言〕 164
おほつか〔覚束〕 参照(覚束無し・覚束
無し)
おほつかな・し〔覚束無し〕
おほつかな〔覚束無〕 <幹> 175
おほつかなし<止> 61
おほつかなみ〔覚束無み〕 63
おほ・ゆ〔覚ゆ〕
おほえ<未> 参照(もの覚え)
おほん〔御〕<接頭> 参照(御有様・御
返り・御消息・御徳・御懐・御文・御許)
おほんありさま〔御有様〕 84
おほんかへり〔御返り〕 61 75 76 161
おほんせうそく〔御消息〕 165
おほんたましゐ→みたましひ
おほんとか〔御徳〕 194
おほんふところ〔御懐〕 110
おほんふみ〔御文〕 58 76 77
おほんめ→みめ〔御妻〕
おほんもと〔御許〕 55
おもしろ・し〔面白し〕
おもしろく<用> 159
おもはず・なり〔思はずなり〕 <形動ナ
リ>
おもはずなり<止> 85
おもひ〔思ひ〕 95* 125* 参照(思ひ
限な)

おもひい・づ〔思ひ出づ〕
おもひいで<未> 88 89
おもひぐまな〔思ひ限な〕 94
おもひし・る〔思ひ知る〕
おもひしら<未> 89
おもひなげ・く〔思ひ嘆く〕
おもひなげき<用> 100
おもひもた・り〔思ひ持たり〕
おもひもたら<未> 34
おもひを・り〔思ひ居り〕
おもひをり<止> 80
おも・ふ〔思ふ〕
おもは<未> 22 84 86 参照(思は
ずなり)
おもひ<用> 79 89 108 121 175
197 参照(思ひ出で・思ひ知ら・思
ひ嘆き・思ひ持たら・思ひをり
・もの思ひ)
おもふ<止> 69 91 93 116
おもふ<体> 10 20 22 30 50 76
131 187 参照(もの思ふ)
おもへ<已> 120
おもへ<命> 75
おや〔親〕 1 87 96 107 140 150
おり→をり
おりた・つ〔降り立つ〕
おりたち<用> 16
お・る〔降る〕
おり<用> 49 参照(降り立ち)
おんな→をんな

— か —

か〔日〕 参照(七日・三日・三日四日・
三七日)
か〔香〕 109 111
か〔彼〕<代> 20 55 81 176
か〔斯〕 参照(斯様・斯様に)
か<係助> 14 47 54 83 83 175

175 参照 (いかでか・かは・などか・
なにか)
か<終助> 30 63
が<格助> 25 45 95 131 145 179
参照 (己が)
かい→かひ
かい〔掻い〕 参照 (掻い練り)
かいねり〔掻い練り〕 38
かいま〔垣間〕 参照 (垣間見る)
かいま・みる〔垣間見る〕
かいまみ<用> 168
かう〔香〕 153
かう〔斯う〕 27 参照 (ともかうも)
かうじ〔柑子〕 参照 (花柑子)
かか・り〔斯かり〕
かから<未> 123
かかり<用> 9
かかると<体> 112
かか・る〔懸かる・掛かる〕
かかり<用> 43
かき<接頭> 参照 (かき集め・かき入れ)
かぎ〔鍵〕 116
かきあ・ぐ〔掻き上ぐ〕
かきあげ<用> 141
かきあつ・む〔かき集む〕
かきあつめ<用> 26
かきい・る〔かき入る〕
かきいれ<用> 145
かぎり〔限り〕 1 20 参照 (限り無し)
かぎりな・し〔限り無し〕
かぎりなし<止> 146
かぎりなき<体> 89
かく〔角〕 参照 (かくひち)
かく〔斯く〕<副> 17 23 73 89 96
104 130 132 193 参照 (かくて・と
かく・ともかくも)

か・く〔書く〕
かき<用> 7 155

か・く〔掻く〕
かき<用> 参照 (掻き上げ)
か・ぐ〔嗅ぐ〕
かぎ<用> 111
がく〔学〕 参照 (才学)
がくさう〔学生〕 152
かく・す〔隠す〕
かくさ<未> 178
かくて〔斯くて〕<副> 35 45 184
かくひち〔角筆〕 6 28
かげ〔影〕 10
かさね〔重・襲〕 参照 (半襲)
かし<終助> 188 197
かしこ・し〔畏し・賢し〕
かしこく<用> 132 169
かしこき<体> 114 170
かしづ・く〔傳く〕
かしづき<用> 1 195
かしは 参照 (かしは車)
かしはぐるま〔唐車カ〕 46
かしら〔頭〕 参照 (頭付き)
かしらつき〔頭付き〕 40
かず〔数〕 123
かす・む〔掠む〕
かすめ<未> 137
かた〔方〕 93 142
かた・し〔難し〕
かたかり<用> 99
かたし<止> 52
かたち〔形・容・貌〕 44 180
かたらひを・り〔語らひ居り〕
かたらひをる<体> 121
かたら・ふ〔語らふ〕
かたらは<未> 97
かたらひ<用> 144 154 参照 (語ら
ひ居る)
かたり〔語〕 参照 (物語・物語し)
かな<終助> 19 26 68 68 73 101

かな・し〔悲し〕
かなしう〈用〉 165
かなしかり〈用〉 157 173
かなしき〈体〉 123 143 149
かは〔皮〕 168
かは〔河〕 8 10 参照(妹背がは)
かは〈係助〉 137
かひ〔甲斐〕 91 参照(甲斐無し)
かひ〔交ひ〕 参照(道交ひ)
かひな・し〔甲斐無し〕
かひなし〈止〉 141
か・ふ〔替ふ〕
かへ〈用〉 参照(作り替へ)
かへ〔帰〕 参照(帰さ)
かべ〔壁〕 118
かへさ〔帰さ〕 45
かへし〔返し〕 21 31 51 102 124
136 148 参照(おほん返り)
かへり〔返り〕 参照(おほん返り・返り
事)
かへりごと〔返り事〕 110
かへ・る〔帰る〕
かへり〈用〉 126 132 162
かは〔顔〕 5 40 参照(得たり顔)
かみ〔上〕 191
かみ〔神〕 55 参照(石神・ただすの神)
かみ〔髪〕 39
かみ〔紙〕 参照(たたみがみ)
かやう〔斯様〕 28 参照(斯様に)
かやう・なり〔斯様なり〕
かやうに〈用〉 197
かよはし〔通はし〕 参照(文通はし)
かよは・す〔通はす〕
かよはし〈用〉 参照(文通はし)
かよ・ふ〔通ふ〕
かよひ〈用〉 96
から〔唐〕 38
から〈格助〉 57 59

が・る〈接尾〉
がり〈用〉 参照(いとほしがり)
かれ〔離れ〕 参照(夜離れ)

— き —

き〔木〕 95*
き〈助動〉
し〈体〉 30 58 63 67 75 103
125 143 147 173 175 175 188
193
しか〈已〉 55 62 65 70 77
きえは・つ〔消え果つ〕
きえはて〈用〉 135
きき〔聞き〕 参照(人聞き)
き・く〔聞く〕
きき〈用〉 34 56 112 114 139
193
きこしめ・す〔聞こし召す〕
きこしめす〈体〉 110
きこ・ゆ〔聞ゆ〕
きこえ〈未〉 161
きこえ〈用〉 163 163 163
きさき〔后〕 47*
きさきのみね〔木さきの峯〕 47*
きさらぎ〔如月〕 36
きちゃう〔几帳〕 4
きぬ〔衣〕 109
きね〔巫覡〕 参照(あだきね)
きのふ〔昨日〕 58 61 65
きみ〔君〕〈名〉 38 168 参照(大君・
大王・中君・三君)
きみ〔君〕〈代〉 30 34 67 93 95
135 137
きも〔肝〕 参照(心肝)
き・ゆ〔消ゆ〕 参照(消(け))
きえ〈用〉 参照(消え果て)
きよげ・なり〔清げなり〕
きよげに〈用〉 40 44 164

き・る〔着る〕

き<用> 38 39 39 166

— く —

く〔来〕

こ<未> 176 参照(参りこ)

き<用> 26 42 57 153 166 177

参照(まうでき・までき・もてき)

ぐ〔具〕 参照(具し)

くじ・る〔決る〕

くじり<用> 119

ぐ・す〔具す〕

ぐし<用> 172

くち〔口〕 参照(口惜しく)

くちおし→くちをし

くちを・し〔口惜し〕

くちをし<用> 133

くつ〔沓〕 166

くに〔国〕 参照(国人)

くにびと〔国人〕 192

く・ふ〔食ふ〕

くは<未> 48 106 107 133

くひ<用> 126

くま〔隈〕 参照(思ひ隈な)

くも〔雲〕 参照(浮き雲)

く・る〔暮る〕

くれ<用> 48

くる・し〔苦し〕

くるし<止> 45

くるま〔車〕 53 参照(かしは車・み車)

ぐわん〔願〕 36

— け —

け〔消〕 《「消ゆ」の未然形・連用形「消え」から転じた活用形》

け<用> 131

け<接頭> 参照(け疎く)

げ<接尾> 参照(清げに・物しげに)

けうと・し〔け疎し〕

けうとく<用> 17

けさう〔懸想〕 参照(懸想じ)

けさう・ず〔懸想ず〕

けさうじ<用> 81

けしき〔気色〕 74 105 139

け・つ〔消つ〕

けち<用> 142

けふ〔今日〕 56 188

けぶり〔煙〕 125

けむ<助動>

けむ<体> 74 97 106 181

けり<助動>

けり<止> 1 17 23 24 36 44

54 64 69 73 78 79 86 87 88

95 98 98 99 104 111 113 118

126 140 142 142 154 156 157

157 161 162 166 168 173 177

190 191 193

ける<体> 1 3 5 6 7 9 18 20

26 27 35 37 38 39 41 41 42

45 107 113 114 119 151 152

154 158 158 172 176 177 178

183 189 191 193 194

けれ<已> 3 4 9 9 19 23 25

42 43 53 54 58 60 78 81 83

92 94 96 96 99 99 108 110

114 116 117 121 125 126 128

132 133 134 138 144 150 150

151 157 165 173 173 176 178

180 194

けん→けむ

— こ —

こ〔子〕 3 69 193

こ〔此〕 5 22 27 35 36 41 46 48

48 53 53 56 57 61 64 74 77

80 88 97 105 126 151 151 152

153 154 167 168 173 190 192
193 194 195
ご〔子〕 参照(破子)
こう〔困〕 参照(困じ・やれ困じ)
こう・ず〔困ず〕
こうじく用> 42 参照(やれ困じ)
こが・る〔焦る〕
こがるれく已> 95
ここ〔此処〕 参照(此処許)
こちこち〔心地〕 16 104 128 参照(心地し)
こちこち・す〔心地す〕
こちこしく用> 142
ここともと〔此処許〕 <代> 119
こころ〔心〕 14 27 30 30 32 50
50 52 63 87 88 89 91 93 94
96 96 100 127 180 183 196
参照(心愛し・心肝・心遣ひ・心解け・
心惑ひ・心行き・み心)
こころう・し〔心愛し〕
こころうし<止> 85
こころぎも〔心肝〕 73
こころづかい→こころづかひ
こころづかひ〔心遣ひ〕 参照(心遣ひし)
こころづかひ・す〔心遣ひす〕
こころづかひし<用> 9
こころと・く〔心解く〕
こころとけ<用> 96
こころまど・ふ〔心惑ふ〕
こころまどひ<用> 127
こころみ〔試み〕 185
こころゆ・く〔心行く〕
こころゆき<用> 94
ごし〔越し〕 参照(すだれ越し)
ごせ〔後世〕 →のちのよ
こそ<係助> 12 70 81 82 84 90
109 125 131 135 164 179 180
180

こた・ふ〔答ふ〕
こたへ<用> 78
こたへ〔答へ〕 参照(しりへ答へ)
こたゑ→こたへ
こと〔言〕 参照(仰せ言)
こと〔事〕 30 52 71 99 103 106
112 138 143 143 146 149 151
156 162 170 178 179 179 192
参照(返り事・何事・僻事)
こと〔異〕 参照(異腹)
ごと〔如〕 80 104 158 163
ごと〔毎〕 <接尾> 160
ごとはら〔異腹〕 3 3
このごろ〔此の頃〕 28
こへ→こゑ〔声〕
こ・む〔籠む〕
こめ<用> 113
こもり・ある〔籠り居る〕
こもりゐ<用> 118
こも・る〔籠る〕
こもり<用> 118 参照(籠りゐ)
こ・ゆ〔越ゆ〕
こえ<用> 8
これ〔此〕 <代> 72 72 110 113 129
168 191
ころ〔頃〕 101 173 参照(ごろ)
ごろ〔頃〕 参照(此の頃・望頃)
こゑ〔声〕 59 139 143 143
こゑ→こえ〔越え〕

— さ —

さ〔者〕 参照(従者)
さ〔然〕 78 179 180 参照(然様に)
さ<接尾> 参照(帰さ・煩はしさ)
さい〔才〕 参照(才学) →ざえ
さい〔宰〕 参照(宰相)
さいがく〔才学〕 191
さいしゃう〔宰相〕 191

さうし〔曹司〕 24 117 126
さうしき→さふしき
さえ〔才〕 1 196
さが・す〔捜す〕
さがし〈用〉 48
さき〔先〕 14 73 参照（先立ち）
さきだ・つ〔先立つ〕
さきだち〈用〉 42
さくら〔桜〕 参照（桜色）
さくらいろ〔桜色〕 38
さぐ・る〔探る〕
さぐれ〈已〉 144
さし〔差し〕〈接頭〉 参照（差し合ひ）
さしあ・ふ〔差し合ふ〕
さしあひ〈用〉 72
さしたる〈連体〉 115
さ・す〔挿す〕
さし〈用〉 167
さ・す〔指す・差す〕
さし〈用〉 55
さて〈接〉 25 36 172 参照（さては）
さては〈接〉 41
さはがし→さわがし
さはぐ→さわぐ
さはり〔障り〕 104
さは・る〔障る〕
さはり〈用〉 96
さは・る〔触る〕
さはら〈未〉 144
さふしき〔雑色〕 128
さぶら・ふ〔候ふ〕
さぶらは〈未〉 188
さへ〈副助〉 111 185
さま〔様〕 5
さま〔様〕〈接尾〉 参照（詣でさま）
さまさま〔様様〕 187
さ・む〔覚む〕
さめ〈用〉 101

さも 78
さやう・なり〔然様なり〕
さやうに〈用〉 84
さら〔更〕 参照（更に）
さらに〔更に〕〈副〉 192
さらぬわかれ〔避らぬ別れ〕〈連語〉 147
さり〔去り〕 参照（夜去り）
さ・り〔然り〕
さる〈体〉 参照（さる・さる程に）
され〈已〉 参照（されど）
さる〔然る〕〈連体〉 44 181
さ・る〔避る〕
さら〈未〉 147
さ・る〔戯る〕
ざれ〈用〉 68
さるほどに〔さる程に〕〈接〉 44
されど〔然れど〕〈接〉 97
さわが・し〔騒がし〕
さわがしう〈用〉 57 参照（物騒がしう）
さわ・ぐ〔騒ぐ〕
さわぐ〈体〉 63
さわげ〈已〉 参照（泣き騒げ）
さん〔三〕 参照（三君）→みか・みたり
さんしちにち〔三七日〕→みなぬか
さんにん〔三人〕→みたり
さんねん〔三年〕→みとせ
さんのきみ〔三君〕 163 195
さんまい〔三昧〕 参照（三昧堂）
さんまいだう〔三昧堂〕 155
さんよっか〔三四日〕→みかよか
さんよにん〔三四人〕→みたりよたり

— し —

し〔侍〕 参照（内侍）
し〈副助〉 12 参照（しも）
じ〈助動〉
じ〈止〉 175 185 187 197

じ<体> 22 103
 しう〔衆〕→しゅう
 しかじか<副> 162
 したが・ふ〔従ふ〕
 したがは<未> 164
 しづ〔倭文〕 123*
 しづ〔賤〕 123*
 しつく・す〔為尽す〕
 しつくし<用> 2
 しづのおだまき→しづのをだまき
 しづのをだまき〔倭文の苧環〕 123
 して<格助> 7 28 152
 して<接助> 89 183
 し・ぬ〔死ぬ〕
 しに<用> 140 143 152
 しぬ<止> 138
 しの・ぶ〔忍ぶ〕
 しのび<用> 98
 しばし〔暫し〕 12 149
 しばしば〔数〕 71
 しはす〔師走〕 18 19
 しひて〔強ひて〕 86
 しふ〔衆〕→しゅう
 し・ふ〔強ふ〕
 しひ<用> 参照（強ひて）
 しむでん〔寢殿〕→しんでん
 しも<副助> 20 参照（し）
 しゃう〔宰〕 参照（宰相）
 しゃく〔尺〕<接尾> 参照（一尺）
 しゅ〔首〕<接尾> 参照（一首）
 しゅう〔衆〕 3 195
 しり〔後〕 参照（しりへ・しりゐ）
 しりへ〔後方〕 参照（しりへ答へ）
 しりへごたへ〔後方答へ〕 78
 しり・ゐる〔後居る〕
 しりゐ<用> 166
 し・る〔知る〕
 しら<未> 4 16 50 67 77 79 81

84 92 107 145 参照（言ひ知ら・
 思ひ知ら）
 しり<用> 14 81 83
 しる<体> 52
 しれ<命> 93
 し・る〔知る〕
 しれ<未> 32 50
 しろしめ・す〔知ろし召す〕
 しろしめさ<未> 185
 しん〔寝〕 参照（寢殿）
 しんでん〔寢殿〕 164

— す —

す〔為〕
 せ<未> 2 100 105 121 133 137
 参照（答へせ・尽きせ・物忘れせ）
 し<用> 6 16 27 46 132 151
 156 158 165 169 181 190
 参照（懸想じ・心地し・心遣ひし・し
 尽くし・して・調じ・物語し・物し）
 する<体> 1 48 127 参照（主する
 ・物忘れする）
 す<助動>《使役》
 せ<未> 2 25 48
 せ<用> 5 58 188
 す<止> 107
 ず〔従〕 参照（従者）
 ず<助動>
 ざら<未> 84 86
 ず<用> 32 40 79 89 97 100
 103 137 138 144 145 155 183
 192
 ざり<用> 25 111 128 156 157
 177 193
 ず<止> 4 16 29 30 67 78 84
 92 105 115 128 129 132 133
 145 参照（思はずなり）
 ぬ<体> 4 17 25 50 52 80 81
 95 101 101 107 147 175 185

ね<巳> 42 167 176 187

す・う〔据う〕

すゑ<未> 52

すゑ<用> 47

すゑよ<命> 65

すき〔好き〕 参照(好き者)

すきもの〔好き者〕 57

す・く〔食く〕

すき<用> 129

す・ぐ〔過ぐ〕

すぎ<用> 157 183

すぐ・す〔過ぐす〕

すぐす<止> 参照(遣り過ぐす)

すけ〔佐〕 48 53 参照(兵衛佐)

すこし〔少し〕<副> 5 94

ずさ〔従者〕 152

すさまじ〔凄じ〕

すさまじ<止> 19

すずり〔硯〕 155

すだれ〔簾〕 参照(簾越し)

すだれごし〔簾越し〕 4

す・つ〔捨つ〕

すて<用> 150 151

すなほ・なり〔素直なり〕

すなほなり<用> 178

すなをなり→すなほなり

すへ→すゑ〔据ゑ〕

す・む〔澄む〕

すみ<用> 12*

す・む〔住む〕

すみ<用> 12*

— せ —

せ〔瀬〕 12 参照(淵瀬)

せうそく〔消息〕 参照(おほん消息)

せうと〔兄〕 41 42 53 56 64 72

76 79 80 88 105 107 151 152

— そ —

そ〔所〕 参照(余所)

そ〔其〕<代> 54 129 141 155 156

そ<終助>《禁止》 117

そ<係助> 4 10 12 18 20 29 35

37 39 41 57 58 59 59 65 75

75 83 93 149 151 172 176 187

そそ 参照(そそめき)

そそめ・く

そそめき<用> 142

そひふ・す〔添ひ臥す〕

そひふす<体> 142

そ・ふ〔添ふ〕

そひ<用> 参照(添ひ臥す)

そへ<命> 参照(相添へ)

そめ〔染め〕 参照(花染め)

そもそも〔抑〕<接> 75

そら・なり〔空なり〕

そらに<用> 50 100

それ〔其〕<代> 144 175 184

それかあらぬか〔其か有らぬか〕 175

— た —

た〔誰〕<代> 131

た<接頭> 参照(たばかり)

だい〔大〕 参照(大納言)

だいがく〔大学〕 3 64 107 161 195

参照(大学の主)

だいがくのぬし〔大学の主〕 64 117

だいし〔大臣〕 196 参照(大臣殿)

だいじんのど〔大臣殿〕→おとどどの

だいなごん〔大納言〕 69

たう〔専〕 参照(専女)

だう〔道〕 参照(道中)

だう〔堂〕 参照(三昧堂)

だうちゅう〔道中〕→みちなか

たうめ〔専女〕 60

- たえい・る〔絶え入る〕
 たえいる〈体〉 139
 たえて〔絶えて〕〈副〉 192
 たか・し〔高し〕
 たかき〈体〉 196
 たかむら〔簗〕 25 43 167 191
 た・く〔焚く〕
 たき〈用〉 153
 たけ〔文〕 40
 たしか・なり〔確かなり〕
 たしかに〈用〉 157
 ただ〔只〕 143 151 151 172 196
 参照（只今）
 ただいま〔只今〕 128
 ただ・す〔糺す〕
 たたす〈体〉 50*
 たたすのかみ〔糺の神〕 50*
 たたみ〔畳〕 参照（畳紙）
 たたみがみ〔畳紙〕 108
 たちばな〔橋〕 106 参照（花橋）
 た・つ〔立つ〕
 たち〈用〉 参照（出で立ち・降り立ち
 ・先立ち）
 たつ〈体〉 191
 た・つ〔立つ〕
 たて〈未〉 参照（踏み立て）
 たて〈用〉 4
 たてまつ・る〔奉る〕
 たてまつら〈未〉 58
 たてまつり〈用〉 76
 たてまつる〈止〉 64
 たてまつる〈体〉 55
 たてまつれ〈已〉 167
 たてまつ・る〔奉る〕
 たてまつれ〈用〉 160
 たてまつ・る〔奉る〕〈補助動〉
 たてまつら〈未〉 47 82
 たてまつる〈止〉 195
 たてまつる〈体〉 181
 たに〈副助〉 10 145
 たのみわた・る〔頼み渡る〕
 たのみわたら〈未〉 12
 たの・む〔頼む〕
 たのま〈未〉 32
 たのみ〈用〉 参照（頼み渡ら）
 たばか・る〔謀る〕
 たばかる〈止〉 120
 たびたび〔度度〕 61
 た・ぶ〔給ぶ〕〈補助〉
 たぶ〈体〉 160
 たへ→たえ〔絶え〕
 たまさか・なり〔偶なり〕
 たまさかに〈用〉 98
 たましひ〔魂〕 135 137 153 183
 参照（み魂）
 たましひ→たましひ
 たま・ぶ〔給ぶ・賜ぶ〕〈動〉
 たまへ〈命〉 77 159
 たま・ぶ〔給ぶ・賜ぶ〕〈補助動〉
 たまは〈未〉 82 167 177 185 193
 たまひ〈用〉 55 77 112 112 113
 114 115 160 163 168 169 172
 180 181 194
 たまふ〈止〉 159 163 164 165 169
 170 172 181 183 188
 たまふ〈体〉 57 76 81 160 196
 たまへ〈已〉 163 168
 たまへ〈命〉 43 46 70 86 90 119
 129
 たまぼこの〔玉鉢の〕〈枕詞〉 67
 ため〔為〕 131 179
 ためら・ぶ〔躊躇ぶ〕
 ためらひ〈用〉 129
 た・ゆ〔絶ゆ〕
 たえ〈未〉 156
 たえ〈用〉 参照（絶え入る・絶えて）

たり<助動> (完了)
たり<用> 6 7 38 39 99 99 113
158 173 177 参照(得たり顔)
たり<止> 72 111 177
たる<体> 45 57 59 68 68 79
97 118 166 166
たれ<已> 88 130 153
たり<接尾> 参照(二人・三人・三四人)
たれ〔誰〕 18 47 69

— ち —

ち<接尾> 参照(はたち)
ちか・し〔近し〕
ちかから<未> 65
ちかく<用> 91
ちぎ・る〔契る〕
ちぎり<用> 30
ちち〔父〕 参照(父大臣・父主)
ちち〔軼〕 166
ちちおとど〔父大臣〕 169
ちちぬし〔父主〕 25 56 114
ちどり〔千鳥〕 参照(浜千鳥)
ちやう〔帳〕 166
ちゆう〔中〕 参照(道中)
ち・る〔散る〕
ちる<体> 109

— つ —

つ<助動>
て<用> 54 73 113
つ<止> 12* 75 126 169
つれ<已> 58 59 111
つ<接尾> 参照(二つ・二つ三つ・三つ)
づ〔出〕
で<用> 参照(惑ひで)
ついに→つひに〔遂に〕
ついふるま・ふ〔衝い振舞ふ〕
ついふるまひ<用> 160

つかうまつ・る〔仕る〕
つかうまつる<止> 28
つかひ〔使〕 58 59 128
つかひ〔遣ひ〕 参照(心遣ひ)
つか・ふ〔使ふ〕
つかふ<体> 128
つき〔月〕 18 20 22 参照(月夜)
つき〔付き〕 参照(頭付き)
つき・す〔尽きす〕
つきせ<未> 155
つきよ〔月夜〕 19
つ・く〔付く〕
つか<未> 83 86 参照(見つか)
つ・く〔衝く〕
つい<用> 参照(つい振舞ひ)
つ・く〔尽く〕
つき<用> 参照(つきせ)
つ・く〔付く〕
つけ<用> 54 125
つくる<体> 参照(みつくる)
つく・す〔尽す〕
つくし<用> 参照(し尽し)
つくりか・ふ〔作りかふ〕
つくりかへ<用> 35
つく・る〔作る〕
つくり<用> 46 159 165 参照(作
りかへ)
つくる<体> 192 197
つち〔土〕 117
つつ・む〔包む〕
つつみ<用> 96
つね〔常〕 参照(つねに)
つねに〔常に〕 35 99 149
つひ〔遂・終〕 参照(つひに)
つひに〔遂に・終に〕 149
つら・し
つらし<止> 91
つらけれ<已> 90

つるばみ〔椽〕 165

一 て 一

て〔点〕 参照(文の点)

て〔手〕 113 144 145

て<接助> 2 3 4 5 6 8 14 16

18 22 26 26 26 27 34 36 39

39 39 40 40 42 43 43 44 45

46 46 48 49 53 53 53 54 54

55 56 56 61 62 64 68 72 73

75 76 78 78 79 83 85 87 88

94 96 97 98 100 100 101 101

105 106 107 108 112 112 113

113 114 115 117 118 118 119

119 119 120 120 121 125 126

126 127 127 129 129 132 132

133 135 137 138 139 139 139

139 140 140 140 140 141 142

143 144 145 150 151 152 153

153 153 155 156 157 158 159

160 160 161 162 163 163 165

165 166 166 166 167 167 168

169 169 169 172 177 181 188

188 191 197 参照(かくて・して・

強ひて・絶えて・とて・にて・別いて)

で<接助> 10 24 37 79 82 84 106

112 121 133 158 176 178 181

190

てう〔調〕 参照(調じ)

てう・ず〔調ず〕

てうじ<用> 127

てふくみ〔弔文カ〕 35

でん〔殿〕 参照(寢殿)

一 と 一

と<副> 参照(とかく・ともかうも・ともかくも)

と<格助> 6 9 9 10 12 14 19 19

20 22 26 32 41 43 47 48 54

54 58 59 60 60 67 69 69 71

72 75 76 77 78 79 79 80 86

92 93 93 94 100 106 108 111

116 119 125 126 127 131 132

134 150 159 161 163 164 169

170 175 176 177 178 184 187

189 参照(とて)

ど<接助> 4 9 42 53 58 88 96

99 108 120 138 141 参照(されど)

とうめ→たうめ

とかく<副> 150

とき〔時〕 69 159 参照(時時)

ときあ・く〔解き開く〕

ときあけ<用> 139

ときどき〔時時〕 154

とく〔徳〕 参照(おほん徳)

と・く〔解く〕

とき<用> 参照(解き開け)

と・く〔溶く〕

とけ<用> 149

と・く〔解く〕

とけ<用> 参照(うち解け・心とけ)

ところ〔所〕 97 118 153 参照(二所)

とし〔年〕 22 44 180

とせ〔年〕 参照(三年)

とて<格助> 2 3 4 9 23 43 65

86 116 116 117 138 138 159 186

とど・む〔止む〕

とどめ<未> 参照(惜しみとどめ)

とどめ<用> 参照(引きとどめ)

との〔殿〕 161 176

どの〔殿〕<接尾> 参照(大臣どの)

とは・し〔遠し〕

とほき<体> 153

とは・る〔通る〕

とほり<用> 160

とま・る〔止る〕

とまり<用> 168
 とみ〔頼〕 参照(頼に)
 とみに〔頼に〕 24
 と・む〔止む〕
 とめ<用> 参照(引きとめ)
 とも〔供〕 36
 とも<接助> 34 91 187
 ども<接助> 65
 ども<接尾> 参照(むまごども)
 ともかう 参照(ともかうも)
 ともかうも<副> 83
 ともかく 参照(ともかくも)
 ともかくも<副> 121 164
 とも・す〔燈す〕
 ともし<用> 153
 とら・す〔取らす〕
 とらせ<用> 6
 とらす<止> 74 108
 とりい・る〔取り入る〕
 とりいれ<未> 132
 とりいれ<用> 56 64
 と・る〔取る〕
 とら<未> 107
 とり<用> 64 113 160 166 167
 168 196 参照(取り入れ)
 とる<体> 196

— な —

な〔名〕 191
 な<副> 117
 な<終助>《感動》 91 115
 ない〔内〕 参照(内侍)
 ないし〔内侍〕 87
 なか〔中・仲〕 8 27 117 123
 参照(道中・仲人・中君)
 なかうど〔仲人〕 82
 なが・す〔流す〕
 ながす<体> 参照(泣きながす)

なかなか 参照(なかなかに)
 なかなかに<副> 100
 なかのきみ〔中の君〕 163
 なきあ・ふ〔泣き合ふ〕
 なきあへ<命> 126
 なきおり→なきをり
 なきさわ・ぐ〔泣き騒ぐ〕
 なきさわげ<已> 138
 なきなが・す〔泣き流す〕
 なきながす<体> 147
 なきふ・す〔泣き臥す〕
 なきふせ<命> 141
 なきまど・ふ〔泣き惑ふ〕
 なきまどへ<已> 141
 なきを・り〔泣き居り〕
 なきをり<用> 119 176
 な・く〔泣く〕
 なき<用> 118 163 参照(泣き合へ
 ・泣き騒げ・泣き流す・泣き臥せ・泣
 き惑へ・泣き居り)
 なく<止> 155 参照(泣く泣く)
 なく<体> 143
 なけ<已> 138
 なくなく〔泣く泣く〕<副> 144
 なげき〔嘆き〕 95*
 なげ・く〔嘆く〕
 なげき<用> 参照(思ひ嘆き)
 なげく<止> 参照(なげくなげく)
 なげくなげく〔嘆く嘆く〕<副> 103*
 なごん〔納言〕 参照(大納言)
 なさけな・し〔情け無し〕
 なさけなく<用> 9
 な・し〔無し〕
 な<幹> 103* 103* 参照(思ひ隈な
 ・覚東な・覚東なみ)
 なく<用> 91 120 195 参照(跡は
 かもなく)
 なかり<用> 17 192 193

なし<止> 104 150 参照(跡はかも
 なし・覚束なし・限りなし・甲斐なし)
 なき<体> 73 93 参照(限りなき)
 なしは・つ〔為し果つ〕
 なしはて<用> 156
 な・す〔為す〕
 なさ<未> 87
 なし<用> 参照(為し果て)
 なでう→なでふ
 なでふ〔何でふ〕<副> 83
 など<副助> 4 6 59 73 83 85 105
 190
 などか<副> 177
 なに〔何〕<代> 137 参照(何か・何
 事)
 なにか〔何か〕 85 184
 なにごと〔何事〕 59
 なにたつ〔名に立つ〕<連語> 191
 なぬ〔七〕 参照(七日)
 なぬか〔七日〕 156 156 177 参照(三
 七日)
 なほ〔猶〕 115 157
 なみ〔波〕 63*
 なみ〔無み〕 63*
 なみだ〔涙〕 147 155 155
 なむ<係助> 7 27 27 38 41 55 60
 106 110 110 132 153 158 158
 162 191
 なむ<終助> 8 50
 なり<助動> (断定)
 なら<未> 50 123
 なり<用> 3 44 67 69 87 114
 144 191
 に<用> 106 115
 なり<止> 80 170 参照(思はずな
 り)
 なる<体> 46 89 196
 なれ<已> 17 67 110 149

なりい・づ〔成り出づ〕
 なりいで<用> 191 194
 なりは・つ〔成り果つ〕
 なりはて<未> 135
 なりぬづ→なりいづ〔成り出づ〕
 な・る〔成る〕
 なら<未> 16 145
 なり<用> 63 79 125 138 185
 187 191 参照(成り出で・成り果て)
 なる<止> 67
 な・る〔馴る〕
 なれ<用> 参照(馴れ行く)
 なれゆ・く〔馴れ行く〕
 なれゆく<体> 5
 なを→なほ
 なん→なむ

— に —

に<格助> 2 4 5 8 14 17 18 20
 23 24 25 26 27 27 28 36 36
 36 40 40 42 43 44 44 45 45
 46 47 47 47 48 48 49 52 53
 54 55 60 61 63 64 65 69 71
 71 72 73 74 76 77 77 78 81
 81 82 83 86 87 87 88 91 91
 96 96 101 103 107 108 109
 110 110 113 116 117 117 118
 119 121 123 126 127 135 135
 137 140 140 144 145 145 147
 147 150 153 157 158 159 160
 161 161 161 162 163 164 167
 173 175 176 179 181 183 185
 190 191 191 192 196 参照(あ
 はに・如何に・いさぎめに・更に・常に
 ・遂に・頓に・なかなか・にて・正に
 ・諸ともに)
 に<接助> 26 57 116 127 130 147
 184

にく・し〔憎し〕
 にくから<未> 17
 にくし<止> 76
 にご・る〔濁る〕
 にごる<体> 12
 にごれ<命> 10
 にさん〔二三〕→ふたつみつ
 にじふ→はたち
 にて<格助> 3 49 55 59 74 114
 128 130 143 155 156 178 179
 193 194
 にほひ〔匂ひ〕 109
 に・る〔似る〕
 にく<未> 40
 にく<用> 111
 にん〔人〕<接尾> 参照(三四人)

— ぬ —

ぬ〔寝〕
 ね<未> 103
 ね<用> 97 173
 ぬ<助動>
 な<未> 8 12 71 120 137 149
 187
 にく<用> 23 23 42 62 63 64 78
 79 86 98 98 104 126 138 150
 151 161 166 168 173 191
 ぬ<止> 10 16 122 131 161 163
 187
 ぬる<体> 60
 ぬれ<已> 48
 ぬし〔主〕 58 参照(大学の主・父主)
 ぬす・む〔盗む〕
 ぬすま<未> 77
 ぬ・る〔塗る〕
 ぬり<用> 117

— ね —

ねが・ふ〔願ふ〕
 ねがひ<用> 106
 ねたみ〔妬み〕 参照(物妬み)
 ねり〔練り〕 参照(かい練り)
 ねんごろ・なり〔懇ろなり〕
 ねんごろに<用> 190

— の —

の<格助> 1 1 1 1 3 3 3 5 8
 8 10 14 16 18 19 20 20 22 22
 26 27 28 32 34 35 36 36 37
 38 38 38 38 39 39 39 41 41
 44 45 46 47 47 48 49 50 52
 53 53 54 55 55 55 56 57 57
 57 58 59 60 61 61 61 61 64
 65 69 69 72 73 74 75 76 77
 79 80 80 80 81 81 84 87 87
 88 92 95 97 97 103 104 104
 105 106 107 109 109 109 111
 116 117 118 118 123 123 125
 126 129 129 131 135 138 140
 141 141 142 143 143 145 147
 150 151 152 152 152 153 155
 155 155 155 156 156 158 159
 159 162 165 166 167 167 168
 168 172 173 173 176 179 182
 183 185 190 192 193 194 194
 195 195 195 参照(此の頃・三の君
 ・大学の主・中の君・人の女・兵衛の佐
 ・文の点・物の書)
 の・す〔乗す〕
 のせ<用> 53
 のたま・ふ〔宣ふ〕
 のたまは<未> 112
 のたまひ<用> 59
 のたまふ<止> 161

のたまふ〈体〉 59 116 184
のたまへ〈已〉 164 178
のたまへ〈命〉 115
のち〔後〕 140 182
のちのよ〔後世〕 182
のどか・なり〔長閑なり〕
のどかなり〈用〉 114
のみ〈副助〉 16 27 27 30

— は —

は〈係助〉 2 2 4 8 10 12 14 20
22 24 28 29 30 32 34 34 35
37 37 38 39 40 42 47 47 52
57 58 59 71 76 79 81 82 84
87 88 93 96 99 99 100 103 104
107 109 117 123 135 137 149
150 151 151 154 154 156 157
179 180 180 184 184 184 190
190 192 192 193 194 197

参照 (かは・さては・やは)

ば〈接助〉 3 6 9 12 17 19 23 25
42 43 48 50 54 55 56 56 58
60 60 62 67 73 77 78 83 85
91 92 94 95 96 99 110 110 111
114 116 117 118 121 123 126
128 130 131 132 133 133 134
137 138 139 139 140 142 144
144 149 150 150 151 153 157
163 164 165 167 167 167 168
170 173 173 176 176 178 178
180 187 187 195

はい→はひ〔灰〕

はいいる→はひいる

はかせ〔博士〕 2 32

はかな・し

はかなく〈用〉 参照 (跡はかなく)

はかなし〈止〉 参照 (跡はかなし)

ばかり〈副助〉 12 40 44 44 93 108

149 177
はか・る〔謀る〕
はかり〈用〉 79
はかる〈止〉 参照 (たばかり)
は・く〔履く〕
はき〈用〉 166
はじめ〔初め〕 158
はし・る〔走る〕
はしり〈用〉 78 参照 (出で走り)
はた〔廿〕 参照 (はたち)
はたち〔廿〕 44
はつ〔初〕 参照 (初午)
は・つ〔果つ〕
はて〈未〉 参照 (為り果て)
はて〈用〉 125 参照 (明し果て・消え果て・為し果て)
はづか・し〔恥づかし〕
はづかし〈止〉 184
はつむま〔初午〕 36
はて〔果〕 184
はな〔花〕 153 参照 (花柑子・花染め・花橘)
はなかうじ〔花柑子〕 106
はなぞめ〔花染め〕 39
はなたちばな〔花橘〕 109 111
はは〔母〕 参照 (母大殿)
ははおとど〔母大殿〕 112
はひ〔灰〕 135
はひい・る〔這ひ入る〕
はひいり〈用〉 98 99
は・ふ〔這ふ〕
はひ〈用〉 参照 (這ひ入り)
はま〔浜〕 参照 (浜千鳥)
はまちどり〔浜千鳥〕 63
はら〔腹〕 参照 (異腹)
はら・ふ〔払ふ〕
はらひ〈用〉 152
はら・む〔孕む〕

はらみ<用> 104
はる〔春〕 20 106

— ひ —

ひ〔日〕 141 165
ひ〔火〕 95* 125* 141 142 153
ひえ〔比叡〕 155
ひが〔僻〕 参照(僻事)
ひがごと〔僻事〕 27 28
ひきとど・む〔引き止どむ〕
ひきとどめ<用> 188
ひきと・む〔引き止む〕
ひきとめ<用> 168
ひきもてゆ・く〔引きもて行く〕
ひきもてゆき<用> 113
ひ・く〔引く〕
ひき<用> 参照(引き止どめ・引き止
め・引きもて行き)
ひさ・し〔久し〕
ひさしく<用> 25 97
ひさしう<用> 176
ひすまし〔樋洗〕 参照(樋洗童)
ひすましわらは〔樋洗童〕 64
ひち 参照(かくひち)
ひと〔人〕 1 2 4 14 17 18 22 23
32 32 36 44 50 52 54 65 68
74 76 77 81 81 81 84 86 89
92 96 104 114 120 151 156 175
178 180 181 183 194 195 197
参照(国人・人聞き・人の女・昔人・世
人)
ひと〔一〕 参照(一人)
ひとぎき〔人聞き〕 170
ひとのいへ〔人の家〕 65
ひとのみこころ〔人の御心〕 81
ひとのむすめ〔人の女〕 1
ひとびと〔人人〕 105
ひとへ〔単〕 参照(単襲)

ひとへがさね〔単襲〕 38
ひとり〔一人〕 34* 152 158 172
ひゅう系〔兵衛〕 参照(兵衛佐)
ひゅう系のすけ〔兵衛佐〕 44

— ふ —

ふ〔二〕 参照(二人)
ふ〔経〕
へ<用> 22 180
ふ<接尾>
はく<未> 参照(語らは)
ひ<用> 参照(語らひ・語らひをる)
ふ<接尾>
び<用> 参照(翁び)
ふか・し〔深し〕
ふかく<用> 参照(夜深く)
ふ・く〔更く〕
ふけ<用> 23
ふく・む〔含む〕
ふくめ<命> 166
ふ・す〔臥す〕
ふさ<未> 145
ふす<体> 参照(添ひ臥す)
ふせ<命> 140 参照(泣き臥せ)
ふた〔二〕 参照(二つ・二つ三つ・二所)
ふたつ〔二つ〕 195 参照(二つ三つ)
ふたつみつ〔二つ三つ〕 108
ふたところ〔二所〕 194
ふたり〔二人〕 37 37 37
ふち〔淵〕 参照(淵瀨)
ふちせ〔淵瀨〕 14 16
ふところ〔懐〕 145 参照(御ふところ)
ふみ〔文〕 2 25 26 34 55 56 64
79 87 87 104 159 166 197 参照(御
文・文かよはし・文の点・文巻・物の文)
ふみかよはし〔文通し〕 87
ふみかよは・す〔文通す〕
ふみかよはし<用> 81

ふみた・つ〔踏み立つ〕
ふみたて<未> 127
ふみにて〔文の点〕 6
ふみまき〔文巻〕 167
ふ・む〔踏み〕
ふみ<用> 参照(踏み立て)
ふゆ〔冬〕 20
ふよう〔不用〕 82
ふるま・ふ〔振舞ふ〕
ふるまひ<用> 参照(つい振舞ひ)

— へ —

へ<格助> 98
へ<接尾> 参照(しりへ)
へ<接尾> 参照(夜へ)
へかし<助動>
へかしき<体> 179
べし<助動>
べく<用> 8 10 185
べし<止> 122 196
べき<体> 16 68 74 120 126 131
へや〔部屋〕 113

— ほ —

ほか〔外〕 91 140 190
ほけきやう〔法華經〕 155
ほそなが〔細長〕 39 39
ほど〔程〕 17 23 44 48 107 121
129 150
ほの〔仄〕 参照(仄めく・仄かなり)
ほのか・なり〔仄かなり〕
ほのかに<用> 137 141
ほのめ・く〔仄めく〕
ほのめく<体> 156

— ま —

まいる→まゐる
まう・す〔申す〕

まうす<体> 49
まう・づ〔詣づ〕
まうで<用> 参照(詣で合ひ・詣でき)
まうで〔詣で〕 参照(詣で様)
まうであ・ふ〔詣で合ふ〕
まうであひ<用> 45
まうで・く〔詣で来〕
まうでき<用> 60
まうでさま〔詣で様〕 42
まか・す
まかせ<用> 158
まがまが・し〔禍禍し〕
まがまがしう<用> 68
まか・る〔罷る〕
まかり<用> 161 188
まき〔巻〕 参照(文巻)
まさ〔正〕 参照(正に)
まさ〔正に〕 195
まさ・る〔勝る〕
まさら<未> 109
まさ・る〔増る〕
まさり<用> 参照(燃え増り)
まし<助動>
まし<止> 123 170
まし<体> 69
まじ・る〔交じる〕
まじり<用> 137
また〔又〕 11 33 53 61 71 72 195
197
まだ〔未だ〕 98 120
またのあした〔又の朝〕 61
またまた〔又又〕 132
ま・つ〔待つ〕
まち<用> 172
まつ<体> 20 130
まつ〔先〕 167
まで〔詣で〕 《「まうづ」の連用形「まう
で」の約〕 参照(までき)

まで<副助> 188
 まで・く〔詣で来〕
 までき<用> 62
 まどは・す〔惑はす〕
 まどはし<用> 88
 まどひ・づ〔惑ひ出〕
 まどひで<用> 139
 まど・ふ〔惑ふ〕
 まどひ<用> 参照(心惑ひ・惑ひで)
 まどふ<体> 30
 まどへ<已> 参照(泣き惑へ)
 まどろづ→まどひづ
 まなこ〔眼〕 参照(眼居)
 まなこゐ〔眼居〕 74
 まほし<助動>
 まほしく<用> 120
 まほし<止> 107
 まほしき<体> 146
 まほ・なり〔真秀なり・真面なり〕
 まほに<用> 41
 まま〔儘〕 5 26
 まあり・く〔参り来〕
 まありこ<未> 129
 まゐる〔参る〕
 まゐら<未> 129
 まゐり<用> 36 159 参照(参りこ)

— み —

み〔身〕 16 47* 47 116 125 131
 135 137 145
 み〔三〕 参照(二つ三つ・三日・三四日
 日・三人・三四人・三つ・三年・三七日)
 み<接頭> 参照(み車・み心・み魂・み
 女・み妻)
 み<接尾> 63* 参照(おぼつかなみ)
 みか〔三日〕 172 参照(三四日)
 みかど〔帝〕 47
 みかよか〔三四日〕 133

みくるま〔御車〕 159
 みこころ〔御心〕 92 参照(人の御心)
 み・す〔見す〕
 みせ<用> 54 183
 みそか〔晦日〕 22*
 みそか・なり〔密かなり〕
 みそか<幹> 22*
 みたり〔三人〕 162 参照(三四人)
 みたりよたり〔三四人〕 41 152
 みたましひ〔御魂〕 185
 みたましゐ→みたましひ
 みち〔道〕 45 69 71 72 参照(道交
 みちかひ〔道交ひ〕 80 ひ・道中)
 みちなか〔道中〕 43
 みつ〔三つ〕 参照(ふたつみつ)
 みづ〔水〕 12* 155
 みつ・く〔見付く〕
 みつか<未> 84
 みつ・く〔見付く〕
 みつくる<体> 65
 みとせ〔三年〕 157
 みどり〔緑〕 109 111
 みな〔皆〕 107 151
 みなぬか〔三七日〕 154
 みね〔峯〕 47
 みむすめ〔御女〕 162
 みめ〔御妻〕 82
 み・ゆ〔見ゆ〕
 みえ<未> 10 25 103 157
 みえ<用> 6 154 177 181
 み・る〔見る〕
 みく未> 23 参照(あひみ)
 み<用> 5 12* 18 54 65 68 86
 101 105 106 139 160 169 175
 181 194 参照(かいま見・見つか・
 見つくる)
 みる<止> 8 185
 みる<体> 91

みれ<巳> 6 56 118 133 139
140 142

— む —

む<助動>
む<止> 2 2 12 14 34 47 48
71 79 82 87 115 127 129 161
196
む<体> 2 14 16 22 23 32 65
83 84 84 86 86 100 137 145
149 182
め<巳> 12 82 84 109 131 135
164 179

むかし〔昔〕 参照(昔人)
むかしびと〔昔人〕 180
むかひ・ある〔向ひ居る〕
むかひゐ<用> 99
むか・ふ〔向ふ〕
むかひ<用> 112 参照(向ひゐ)
むこ〔婿〕 196
むす・ぶ〔結ぶ〕
むすべ<命> 147
むすめ〔女〕 1 159 参照(み女・人の
女)
むつま・し〔睦まし〕
むつましから<未> 2
むつましく<用> 128
むま〔午〕 参照(初むま)
むまご〔孫〕 参照(孫ども)
むまごども〔孫ども〕 193

— め —

め〔目〕 83 86 91
め〔妻〕 158 178 194 参照(御妻)
め〔女〕 参照(たうめ)
め・く<接尾>
めき<用> 参照(そそめき)
めく<体> 参照(ほのめく)

めでた・し
めでたく<用> 41

— も —

も<係助> 6 16 19 22 24 30 36
40 52 53 63 64 65 65 67 68
69 69 71 71 73 77 78 79 81
84 91 92 93 95 96 96 97 101
103 103 104 105 106 112 114
120 127 131 133 133 137 143
143 144 145 147 156 157 158
176 179 180 180 180 185 190
191 192 192 196 参照(しも・とも
かうも・ともかくも)
もえまさ・る〔燃え増る〕
もえまさり<用> 95
もし<副> 77
もた・り〔持たり〕
もたら<未> 参照(思ひ持たら)
もち〔望〕 参照(望頃)
もちごろ〔望頃〕 18
もて〔持て〕《「もちて」の約〕 参照(も
てき・もて行か)
もて<接頭> 参照(もてかしづき・引き
もて行き)
もてかしづ・く〔もて傳く〕
もてかしづき<用> 195
もて・く〔持て来〕
もてき<用> 72
もてゆ・く〔持て行く〕
もてゆか<未> 127
もてゆ・く〔もて行く〕
もてゆき<用> 参照(引きもて行き)
もと〔許〕 129 参照(おほんもと・こ
こもと)
もと・む〔求む〕
もとめ<用> 77 107
もの〔者〕 75 114 115 参照(すきも)

の)

もの〔物〕 6 75 76 106 112 127
 133 参照(薄物・物覚え・物思ふ・物
 語・物語し・物騒がし・物し・物妬み・
 物の文・ものゆゑ・物忘れす)
 もの<終助> 23
 ものおぼ・ゆ〔物覚ゆ〕
 ものおぼえ<未> 29 128
 ものおも・ふ〔物思ふ〕
 ものおもひ<用> 133
 ものおもふ<体> 101
 ものがたり〔物語〕 6 参照(物語し)
 ものがたり・す〔物語す〕
 ものがたりし<用> 18 119
 ものさはがし→ものさわがし
 ものさわが・し〔物騒がし〕
 ものさわがしう<用> 57
 もの・し〔物し〕
 ものし<幹> 参照(物しげに)
 ものしげ・なり〔物しげなり〕
 ものしげに<用> 74
 もの・す〔物す〕
 ものし<用> 180
 ものねたみ〔物妬み〕 46
 ものふみ〔物の書〕 28
 ものゆへ→ものゆゑ
 ものゆゑ<接助> 101
 ものわすれ・す〔物忘れす〕
 ものわすれせ<未> 175
 ものわすれする<体> 32
 ものを<終助> 175
 も・ゆ〔燃ゆ〕
 もえ<用> 参照(燃え増り)
 もろとも〔諸とも〕 参照(諸ともに)
 もろともに〔諸ともに〕<副> 144

— や —

や〔屋〕 152 173

やく係助> 22 63 67 74 106 111
 196 参照(やは)
 やく間助> 29 60 75 75 85 92 94
 179
 やう〔様〕 49 76 89 115 127 145
 185 参照(かやう・さやうに)
 やう・なり〔様なり〕
 やうに<用> 参照(さやうに)
 やか<接尾> 参照(鮮やかなり)
 やがて<副> 82
 やさ・し〔優し〕
 やさしから<未> 170
 やしろ〔社〕 52
 やす・む〔休む〕
 やすむ<体> 49
 やは<係助> 9 45 123
 やま〔山〕 8 参照(妹背山)
 や・む〔止む〕
 や・み<用> 10
 やりすぐ・す〔遣り過ぐす〕
 やりすぐす<止> 48
 や・る〔遣る〕
 やら<未> 79 91 95
 やり<用> 73 75 参照(遣り過ぐす)
 やる<体> 26 93
 や・る〔破る〕
 やれ<用> 参照(破れ困じ)
 やるかたもな・し〔遣る方も無し〕<連語>
 やるかたもなき<体> 93
 やれこう・ず〔破れ困ず〕
 やれこうじ<用> 165

— ゆ —

ゆ・く〔行く〕 参照(いく)
 ゆか<未> 参照(もて行か)
 ゆき<用> 151 参照(心ゆき・引き
 もて行き)
 ゆく<体> 8 77 参照(馴れ行く)

ゆめ〔夢〕 101 103 104 135 157

ゆる・す〔許す〕

ゆるさ<未> 82

ゆるし<用> 115

ゆゑ 参照 (ものゆゑ)

— よ —

よ〔夜〕 23 121 126 150 172

参照 (月夜・夜離れ・夜深く)

よ〔世〕 17 84 123 182 参照 (世人)

よ〔余〕 参照 (余所)

よ〔四〕 参照 (三四日・三四人・四七日)

よ<終助> 181

よう〔夜〕 参照 (夜去り)

ようさり〔夜去り〕 141

よか〔四日〕 参照 (みかよか)

よがれ〔夜離れ〕 190

よ・し〔良し・好し・善し〕

よから<未> 82

よく<用> 1 152 194

よき<体> 165

よしの〔吉野〕 8 10

よしのかは〔吉野の河〕 8 10

よ・す〔寄す〕

よせ<用> 参照 (呼び寄せ)

よそ〔余所〕 89

よたり〔四人〕 参照 (三四人)

よっか→よか

よなぬか〔四七日〕 154

よなよな〔夜な夜な〕 <副> 153

よにん→よたり

よのなか〔世の中〕 123

よひと〔世人〕 40

よびよ・す〔呼び寄す〕

よびよせ<用> 119

よ・ぶ〔呼ぶ〕

よび<用> 26 165 参照 (呼び寄せ)

よぶか・し〔夜深し〕

よぶかく<用> 98

よべ〔昨夜〕 76

よ・む〔読む〕

よま<未> 2 5 25

よみ<用> 34 87

よむ<体> 104

よ・む〔詠む〕

よま<未> 193

より<格助> 4 72 75 160 191

よる〔夜〕 99

よ・る〔寄る〕

よら<未> 158

より<用> 43 119

よる<体> 149

よろこ・ぶ〔喜ぶ〕

よろこび<用> 169 170

よろづ〔万〕 34 138 143

よんしちにち→よなぬか

— ら —

らむ<助動>

らむ<止> 28 183

らむ<体> 14 93

らめ<已> 181

らる<助動> (自発)

られ<用> 88 89

らん→らむ

— り —

り<助動>

り<用> 70 75 126

り<止> 141 142

る<体> 46 77 90 147 166 183

り<接尾> 参照 (一人)

— る —

る<助動> (受身)

れ<用> 77 82

る〈助動〉《可能》
れ〈未〉 30

— れ —

れい〔例〕 26 72 73 80 87 104
れいの〔例の〕 26 72 73 80 87 104

— わ —

わ〔我〕〈代〉 145 179
わいて〔別いて〕〈副〉 180
わか・し〔若し〕
わかく〈用〉 120
わかき〈体〉 190
わか・る〔別る〕
わかれ〈用〉 187
わかれ〔別れ〕 147
わ・く〔別く〕
わい〈用〉 参照(別いて)

わざ〔業〕 156
わす・る〔忘る〕〈動四〉
わすら〈未〉 30
わす・る〔忘る〕〈動下二〉
わする〈止〉 34
わすれがた・し〔忘れ難し〕
わすれがたく〈用〉 181
わすれ・す〔忘れず〕 参照(もの忘れず)
わたり〔辺り〕 46
わた・る〔渡る〕
わたら〈未〉 14 参照(頼み渡ら)
わづらは・し〔煩はし〕
わづらし〈幹〉 参照(煩はしさ)
わづらはしさ〔煩はしさ〕 60
わ・ぶ〔佗ぶ〕
わび〈用〉 121
わらは〔童〕 37 41 57 60 61 72
73 172 参照(桶洗童)
わり〔破〕 参照(破子)
わりご〔破子〕 48

わる・し〔悪し〕
わるき〈体〉 194

— ゐ —

ゐ〔居〕 参照(眼居)
ゐづ→いづ
ゐぬ→いぬ
ゐる〔率る〕
ゐ〈用〉 53 54 140 参照(うちゐ)
ゐる〔居る〕
ゐく〈用〉 45 70 153
参照(こもりゐ・しりゐ・向ひゐ)

— ゑ —

ゑ・ず〔怨ず〕
ゑじ〈用〉 163

— を —

を〔男〕 41
を〈格助〉 2 5 5 6 6 7 8 14 14
18 20 22 27 30 32 34 35 38
47 48 50 52 54 56 64 72 84
86 88 89 89 91 93 101 103
105 106 110 111 112 113 113
114 116 117 119 125 127 128
131 137 138 139 139 141 142
143 152 153 155 155 159 167
168 168 180 181 183 188 194
195 196 196
を〈接助〉 59
を〈間助〉 77 93 103 103
をか・し
をかしき〈体〉 5
をくる→おくる
をさな・し〔幼し〕
をさなき〈体〉 115
をさ・む〔治む〕
をさむる〈体〉 150

を・し〔惜し〕
 をしく<用> 参照(口惜しく)
 をし・ふ〔教ふ〕
 をしへ<用> 26 55
 をしふる<体> 27 87
 をしみとど・む〔惜しみ止む〕
 をしみとどめ<未> 131
 をし・む〔惜しむ〕
 をしみ<用> 参照(惜しみ止め)
 をたまき〔孳環〕 123
 をとこ〔男〕 5 11 15 23 26 33 35
 46 49 75 77 88 122 155 184
 190
 をとづる→おとづる

をの〔己〕→おの
 をのこ〔男子〕 114
 をふ→おふ
 を・り〔居り〕
 をり<用> 参照(泣きをり)
 をり<止> 参照(思ひをり)
 をる<体> 参照(語らひをる)
 を・る〔折る〕
 をり<用> 39
 をんな〔女〕 1 13 27 36 45 47 79
 115 126 129 148 152
 — ん —
 ん→む

歌 句 索 引

— あ —

あかしはてしを (五) 103
 あかずして (一) 183
 あかぬものおもふ (四) 101
 あせななん (三) 8
 あだぎねすゑぬ (二) 52
 あだにちる (一) 109
 あとはかなしと (二) 71
 あとはかも (一) 63
 あとはかもなく (四) 67
 あはにむすべる (五) 147
 あはれとおもはむ (五) 22
 あはれとは (一) 93
 あはれなりける (五) 20
 あふことの (三) 103
 あらじとぞおもふ (五) 187
 あらばこそ (三) 131
 ありしにも (三) 147
 あわなれば (三) 149

— い —

いかがたのまむ (二) 32
 いかにしりてか (二) 14
 いけるころを (四) 183
 いささめに (一) 125
 いしかみは (三) 52
 いとかなしきは (四) 123
 いとどしく (一) 95
 いふことも (三) 71
 いもせがは (三) 16
 いもせのやまを (四) 8
 いもせやま (一) 10
 いをねずは (一) 103

— う —

うちとけぬ (一) 101
 うつらざりけり (五) 111

— お —

おどろかさねば (四) 187

おなじみちには	(四)	71
おのがさまさま	(二)	187
おぼつかな	(三)	175
おぼつかなみに	(四)	63
おもひしものを	(五)	175
おもひもたらん	(五)	34
おもふいのちの	(二)	131
おもふところは	(二)	30
おもふところを	(四)	50
おもふとも	(三)	91
おもふには	(三)	20
おもふもあかじ	(二)	22
おもふらん	(三)	93
おりたちぬべき	(四)	16

— か —

かからましやは	(二)	123
かきつれば	(三)	111
かげだにみえで	(二)	10
かこそまさらめ	(五)	109
かずならば	(一)	123
かのつきしもぞ	(四)	20
かみならば	(三)	50

— き —

きえはてて	(一)	135
きみがなげきの	(二)	95
きみなれば	(三)	67
きみにあひそへ	(五)	135
きみばかりをぞ	(二)	93
きみひとりをば	(四)	34
きみまじりなば	(四)	137
きみをのみ	(一)	30

— け —

けぬべきみをも	(四)	131
けぶりこそ	(三)	125

— こ —

こえてみるべく	(五)	8
こがるれば	(三)	95
こごちのみして	(五)	16
こころただすの	(二)	50
こころとをしれ	(五)	93
こころをさきに	(四)	14
こころをほかに	(四)	91
ことぞかなしき	(五)	149
このつきは	(三)	22
ころにもあるかな	(五)	101

— さ —

さらぬわかれに	(四)	147
さわぐところか	(五)	63

— し —

しづのをだまき	(五)	123
しばしばかりぞ	(二)	12
しばしばかりは	(二)	149
しばしばに	(一)	71
しることかたし	(四)	52

— す —

すぎけるひとの	(二)	183
すみなむとこそ	(四)	12

— そ —

そらにしらなん	(五)	50
それかあらぬか	(二)	175

— た —

たがためと	(一)	131
たのみわたらめ	(五)	12
たましひに	(三)	183
たましひは	(一)	137
たまほこの	(一)	67

— ち —

ちぎりしことも (四) 30

— つ —

つけしおもひの (二) 125

つねによる (一) 149

つひにとけなん (四) 149

— と —

としをへて (一) 22

— な —

なかにゆく (一) 8

なきながす (一) 147

なくやなりにし (二) 63

なげくなげくも (四) 103

なにかはせん (五) 137

なみだのうへに (二) 147

なりてはてけれ (五) 125

なりぬとも (三) 187

なりはてめ (三) 135

なるとしらずや (五) 67

— に —

にごるせは (一) 12

にごれとぞおもふ (五) 10

にたりとや (一) 111

にほひには (三) 109

— は —

はかせとは (一) 32

はなたちばなの (二) 109

はなたちばなを (二) 111

はまちどり (三) 63

はるをまつ (一) 20

— ひ —

ひとしれず (三) 32

ひとしれぬ (一) 50

ひとのいふらん (五) 14

ひとのこころを (五) 32

ひとのこころを (五) 52

— ふ —

ふちせもしらず (二) 16

ふちせをば (一) 14

ふゆのかぎり (二) 20

— ほ —

ほのかにて (三) 137

— ま —

またもあひなん (五) 71

まどふこころか (五) 30

— み —

みこそははひに (二) 135

みしひとに (一) 175

みせたまふらん (五) 183

みそかのひとや (四) 22

みちかひなりし (二) 67

みづしあらば (三) 12

みてさめて (三) 101

みどりのかさへ (四) 111

みどりのきぬの (四) 109

みのならむ (一) 16

みるかひもなく (二) 91

みをうきぐもと (四) 125

みをもかすめず (二) 137

— め —

めにちかく (一) 91

— も —

もえまさりけり	(五)	95
ものゆゑゆめを	(二)	101
ものわすれする	(四)	32
ものわすれせじと	(四)	175

— や —

やしろにも	(一)	52
やみぬべく	(三)	10
やらぬおもひも	(四)	95
やらばつらしな	(五)	91
やるかたもなき	(四)	93

— ゆ —

ゆめにもみえじを	(二)	103
ゆめのたましひ	(四)	135

— よ —

よしののかはは	(二)	8
よしののかはは	(四)	10
よのなかに	(三)	123
よみききて	(一)	34
よろづのふみは	(二)	34

— わ —

わかれなげ	(一)	187
わすられず	(三)	30
わするとも	(三)	34
わたらむと	(三)	14

— を —

をしみとどめめ	(五)	131
---------	-----	-----